

令和3年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 (受入市町村促進事業) 〈概要版〉



中城村ごさまる陸上競技場



八重瀬町東風平サッカー場



南風原町黄金森陸上競技場



南城市陸上競技場

受入市町村促進事業の趣旨

沖縄県では、沖縄観光の新たな魅力の創出や着地型観光の拡充等を図るため、スポーツツーリズムを推進しており、現在、国内外から多くのプロサッカーチーム等のスポーツキャンプが集積し、日本有数のキャンプ地を形成している。

一方で、本県でキャンプ実施を希望するチームは多くあるが、受入可能な施設は限られているため、県内施設のインフラ整備等を行い、キャンプ受入体制を強化する必要がある。

本事業は、キャンプチームの更なる誘致拡大を図るため、受入市町村の新たな創出に取り組み、キャンプ実施希望クラブの受入を行うことで、キャンプ開催地としてのブランドを強化し、サッカーキャンプを目的とした来訪者の増加、経済効果の向上及び地域の活性化を目指す。

令和4年3月
沖縄県

巡回支援事業（県内各施設）

県内各施設を巡回し支援していく、巡回支援事業において、例年と同様にサッカーキャンプを実施する全ての施設において、土壌調査、クオリティ調査を実施させて頂いた。事業も5年目となり、調査データが5年分蓄積されてきており、土壌の経時的な変化、物理性・化学性の変化を確認する事ができた。また、変化に応じて各施設の管理方法を提案してきたが、これらのデータが活かされた施設が多く見られた。今後もこのデータを各施設の管理に役立てて頂きたい。



土壌調査



クオリティ調査

巡回支援事業として、昨年度までの土壌調査によるデータをもとに、品質を向上させたい施設について、作業や資材の提供など様々な形で支援を実施し、品質の向上に繋がった。



かいぎんフィールド国頭、西原町民陸上競技場においてシャッターリング作業を実施し、土壌硬度の緩和と表層の排水改善に努めた。

◎西原町東崎公園サッカー場



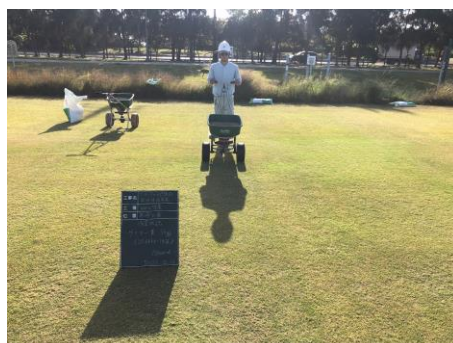
今年度は、改修工事やクラブハウス建設工事などがキャンプ時期に重なり、キャンプを受け入れる事ができない施設がいくつか発生する見込みであった事から、これまでキャンプ受入実績のある西原町東崎公園サッカー場の巡回支援による重点管理を実施した。

一般利用の予約が既に12月中旬まで入っていた事もあり、寒地型芝草の種子を散布する時期が通常よりも少し遅い時期となってしまった。

12月の利用後からウインターオーバーシーディングを施し、1月からのキャンプに備えた。しかし、新型コロナの影響で、予定されていた1月中旬からの県外Jリーグクラブのキャンプは中止となってしまった。

キャンプは中止となってしまったが、FC琉球の練習場所として利用された。

※ウインターオーバーシード…暖地型芝草の上に、秋季に寒地型芝草（ペレニアルライグラスなど）の種子を播種して、秋季から春季に常緑を保ち、ターフのクッション性、プレーコンディション、美観を確保する管理手法のこと。



沖縄サッカーキャンプ2022

2022年1～2月にて、県内各地でサッカーキャンプが実施された。

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染対策もあり、無観客での実施となった。難しい環境の中でも選手のトレーニングに対する姿勢は例年同様に集中しているように感じられた。



かいぎんフィールド国頭



恩納村赤間サッカー場



西原町民陸上競技場



中城村ごさまる陸上競技場



南風原町黄金森陸上競技場



南城市陸上競技場



八重瀬町東風平サッカー場



豊見城陸上競技場



糸満市西崎陸上競技場

昨年度に引き続きコロナ禍でのキャンプの実施となった今年度、沖縄県でのJリーグクラブのキャンプは4クラブがキャンセルをする事態となった。このような状況下でも沖縄県内でキャンプを実施してくれたクラブは、J1・J2を合わせて15クラブ（FC琉球を除く）にもものぼった。これは、沖縄キャンプの重要性、優位性が高く評価された結果と言える。引き続き本事業などにより練習環境の向上に努めていく事が重要と言える。

◇令和3年度サッカーキャンプ誘致戦略推進事業◇
(受入市町村促進事業)

発注者：沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

TEL 098-866-2708

受託者：東洋グリーン株式会社 沖縄営業所

沖縄県島尻郡八重瀬町字伊覇144-2

TEL 098-840-7617